

手術により予想される術後の状態と偶発症・後遺障害

- ・その他、手術後の出血、投与した薬に対するアレルギー、持病の悪化等、予測不可能な事が起こる事もあります。そのつど対応し状況を説明いたします。
- ・手術時には麻酔等薬剤の影響、体調、手術の状況により担当医の判断で手術の延期や中断、中止をする場合があります。具体例の一部を下記に示します。
- ・普段飲んでいる薬は、指示がない限り必ず普段通り飲んできて下さい（血がサラサラになる系統の薬も原則止めません）。飲んで来ない場合は手術が延期となる可能性があります。
- ・初診日以降から手術前に新たに脳梗塞、心筋梗塞等になった場合
- ・当科で予定していた手術よりも優先度の高い疾病になった場合
- ・アナフィラキシーショック等により生命の危険が予想される場合
- ・術前の血圧が高く外科処置により生命の危険が予想される場合
- ・術中に気分不良を起こし手術の続行は困難と判断した場合
- ・歯根が破折した際に後遺障害のリスクが高いと判断した場合（破折した歯根の先を無理に除去しない可能性があります）

受診時の注意事項

- ・手術後は麻酔の影響ですぐに食事をとることはできませんので予約の30分くらい前までに食事を取り、空腹の状態は避けて来て下さい。また、手術終了後の痛みのコントロールのために手術前に痛み止めを飲んでいただいています。痛み止めは胃を荒らす副作用があり、空腹で手術を受けると気分不良の原因となることがあります。
- ・体調が悪い時には早めに連絡をください。別の日程で予約を取りなおします。
- ・お化粧品は口紅は落とし、顔色がわかる程度の化粧品にしてください。
- ・血がはねることがありますので手術当日は白い服は避け、暗めの服で来院して下さい。
- ・体調により酸素を計る機械を付けますのでマニキュア、ジェルネイル等は必要時外してきてください。
- ・当院は救急の患者様も来院されるため、状況により予約の変更や順番が前後する事があります。予めご了承下さいますようお願い申し上げます。